

ディアパーク リトリート

成田発 11月17日(木曜)～成田着 11月30日(水曜)



リトリート会場

[ディアパーク](#)

Deer Park Institute
Bir, District Kangra,
Himachal Pradesh 176 077 India

Phone No:
+91 - 1894 - 268 508

募集人員 定員はありません。

旅行日程

11月17日(木): 成田 → デリー

17:15分成田発のANAの直行便を利用。インドのデリーに午前0:15分ごろ到着。入国手続きのあと、迎えの車でホテルへ。[Likir House](#)

18日(金) フリーデイ in デリー

フマユーン廟など世界遺産の見学

19日(土) デリー → ダラムサラ

デリーの国内線空港から、ダラムサラ近くのカングラ空港へ飛ぶ(約1時間半)。そこからタクシーで30分ほどで、ダラムサラへ。ダライラマ法王のお寺を見学したあと宿泊

20日(日) ダラムサラ → ディアパーク

タクシーで約二時間で、ディアパーク。

21日(月) フリーデイ in ディアパーク

22(火) オリエンテーション 7:30pm

夕食後にリトリートの説明会。

23(水)~26(土) 終日リトリート

27(日) 昼食後 リトリート終了

午後は近くの僧院を訪ねることになるでしょう。

28(月) ディアパーク → ダラムサラ(カングラ空港) → デリー

タクシーでカングラ空港まで移動(約2時間)して、デリーまで飛び、Likir Houseに宿泊。

29(火) フリーデイ in デリー

最終日なので、買い物など。ホテルには午後10時まで滞在して、出発。

30日(水) デリー → 成田

01:25発のANAの直行便でデリーを出発して、12:45頃成田着。

費用概算

- ・ANA往復航空券(成田⇄デリー)80,360円。(全日空のサイトから購入。税金等含む)
- ・インド国内航空券(デリー⇄ダラムサラ)約23,000円
- ・デリーのホテル代(3泊)約15,000円
- ・ダラムサラのホテル代(1泊)約5,000円
- ・タクシー、ディアパーク食事代込みの宿泊費(九泊)など 合計約20,000円
- ・ヴィザ、海外保険代 約12,000円

合計 約15万円

これに、食事代、お土産代、諸経費をいれると、総計で約18~20万円くらいでは？日本円を現金でもってきて、その都度、両替してゆきます。両替はどこでも可能です。空港、デリーの街角、ディアパークのある村でも。

これからの流れ

1, 申し込み 一法庵に参加の意思を、[メール](#)でお知らせください。

1. お名前
2. ご住所
3. 電話番号
4. パスポートナンバー
5. パスポートの有効期限
6. 生年月日(書類に書き込む必要があります)

2, 航空券購入

[全日空のサイト](#)から、以下の日程の往復航空券を、各自がクレジットカードで購入します。席も指定してください。11月17日も30日も、シートマップを見ると、席はまだたくさんあります。今調べると80,360円 でした。私の席は29Aです。その近くは空いてますので、そのあたりの席にしてください。食事の指定(ヴェジタリアンなど)も、前もってできます。

往路	復路
<p>11月17日 (木)</p> <p>東京(成田・羽田) → デリー</p>	<p>11月30日 (水)</p> <p>デリー → 東京(成田・羽田)</p>
<p>★ 東京(成田) ▶ デリー</p> <p>17:15 00:15 翌日</p> <p>NH827 763 シートマップ</p> <p>ANA 予約クラス S</p> <p>総所要時間 10時間30分</p> <p>運賃種別 1 2</p>	<p>★ デリー ▶ 東京(成田)</p> <p>01:25 12:45</p> <p>NH828 763 シートマップ</p> <p>ANA 予約クラス S</p> <p>総所要時間 7時間50分</p> <p>運賃種別 1 2</p>

3, パスポートの確認

有効期限が11月の時点でも半年以上あることを確認。
有効期限が短い人、パスポートをお持ち出ない人は、至急、申請して取得してください。

4, ヴィザの申請

知り合いの業者に依頼します。これは皆で一括でやります。申請先が違うので、関東と、関西にわかれて申請します。

5, 海外旅行保険に加入

インターネットで申し込めます。これは重要です。私も昨年、iPhoneを落とし、画面を破損しましたが、インド旅行中の事故として、まるまる修理費用がでましたよ。病気になったときのために、**必ず加入してください**。成田空港でもできます。

6, デリーとダラムサラのホテル、国内線のチケット(以下のもの)などは、私とディアパークのほうで手配します。

その他

電話:

日本のスマートフォンがそのまま使えます。勿論高額ですから、会話を短く。WiFiがあるところ(ディアパークもあります)なら、Lineや、FacebookのMessenger、Face Timeなどの無料電話アプリを使って、日本のかたと話せます。

お土産:

デリーでは、紅茶やショール。ダラムサラでは、仏像、数珠、仏具など。ディアパークのあるビール村では、チベットのかたが住んでいるので、チベタンショールなどが購入できます。オーダーメイドで、インド服を格安で作れますよ。男性も女性も。布地も手に入ります。一法庵で使っているチベットの線香も、ディアパークのショップで買えます。



ディアパークのブツダホールのお釈迦さま。我々のリトリートを見守ってくださいます。



天へ突き抜ける青空のしたでのウォーキングメディテーション。裸足で芝生の感触を確かめながら、一步一步にきづいてゆきます。



坐禅会場。冬でも暖かく、こんなに簡単に深いところへ入って行ける場所はありません。不思議です。ここで、法話と瞑想をします。



昼食。西洋人もいるので、味はインターナショナル。つまりマイルドです。完全な菜食で健康的です。お昼は芝生に座りながら食べることもあります。



ダラムサラーに一泊します。勿論、ダライラマ法王さまのお住まいのある場所で、チベット仏教の中心地です。このような風景を、一望に見渡せるホテルを紹介してもらっています。お楽しみに。